

鹿児島県蒲生町(土地活用町営住宅建設)2次

【事業年度: 21年度】

※ 蒲生町は、平成22年3月に近隣の始良町、加治木町と合併し始良市となりました。本資料では 合併前の自治体の名称で紹介しています。

蒲生町は、平成20年度に遊休地の有効利用と良質な町営住宅の提供を目的としてPFI的手法により町営住宅の建設を行った。今回は、まちなかの活性化(まちなか浮揚)目的として蒲生町の中心街にある銀行跡地を活用しての町営住宅の建設を前回同様 PFI的手法により計画。また、蒲生町は平成22年3月に市町村合併を控えており 合併後中心となる自治体への人口の流出を抑える(定住化促進)も視野に入れ 前回同様に町単独 町営住宅の整備事業となっている。

- 事業概要: ① 民間業者が事業資金を調達、建設を行ない町が18年間一括借を行う。
 ② その間 民間業者が維持管理も行と共に借上げ家賃で資金回収を行う。
 ③ 事業完了にて、建物は町へ無償譲渡する。

【事業概要】			
借上期間	18年	住居面積	A棟: 56.44㎡, B棟: 63.42㎡
戸数	12戸	借上家賃	平均: 58,000円
棟数	2棟(2戸×3階建×2棟)	総事業費	125,280,000円
構造	RC構造	土地所有	蒲生町(事業間中 土地は事業者へ無償提供)
間取	A棟: 2LDK, B棟: 3LDK	入居対象者	所得制限無し(小学生以下子供有り世帯優先)
特徴	① 町の単独事業(国からの助成金なし) ② 建設予定地の整備工事は町が行う。		

